

千葉県議会議員 (我孫子市選出・無所属) 無所属系会派「千翔会」代表

水野 ゆうき

ゆう
can change!

県議会・
活動報告 vol.49



Blog <https://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 Twitter @yuukitten

激甚化・頻発化する豪雨に備えインフラ強化を～我孫子市栄地区～



県土整備部常任委員会にて質疑

千葉県における台風の上陸回数は全国8位と高い水準にあります(気象庁)。水野ゆうきは我孫子市内各地の住民からのヒアリングや調査に基づき、千葉県県土整備部や千葉県柏土木事務所(柏市・我孫子市所管)と協議を行いながら対策を講じています。台風やゲリラ豪雨等が発生する度に道路の冠水等が発生する箇所については、喫緊の課題としてインフラ整備を行う必要があります。

特に、県道船橋我孫子線の我孫子市栄地先においては、大雨の度に側溝から水が溢れ出し、地域住民が被害を懸念していることから、水野ゆうきは所属する県土整備常任委員会において早急に冠水対策工事に着工するよう求めました。

県からは、排水路に堆積していた土砂の除去を行うとともに、排水路の機能を改善するための工事に必要な調査を実施し、**来年度に工事着手できるように進める**旨の答弁を得て、必要な予算を確実に確保するように要望しました。



栄地区の冠水状況

学校教育環境を取り巻く変化への対応と課題解決へ

本県における少子高齢化はさらに加速しており、千葉県は都市部から郊外、さらには過疎化が進む地域など多様な地域が存在します。子育て世帯の流入により30歳前後及び10歳以下の転入が多い地域がある一方、少子化の進展によって子どもが減少し、学校の統廃合が進む地域も見られる中、水野ゆうきは教員の多忙化や未配置等の改善も指摘しています(6月議会代表質問)。現在、学校教育環境も大きな転換期を迎えており、千葉県のどこに住んでいても公平に質の高い教育が受けられるよう環境を整備していく必要があります。加えて、新型コロナウイルス感染症対策や昨今の物価高騰により学校給食の質の維持など課題は多様化しています。

【9月定例県議会で可決した主な教育施策】

●令和5年1月から第3子以降の

義務教育機関における公立学校給食費無償化

＜対象者＞3人以上の子を扶養する世帯において被扶養者である子のうち年齢が上から3番目以降の子(※義務教育の公立学校在籍者に限る。また実施するか否かは市町村判断による。我孫子市は既に市独自で実施しており、今後は市の財政負担軽減につながる)

＜負担割合＞・市町村立学校:県2分の1、市町村2分の1
・県立学校:県10分の10

●県立学校の学校給食費の質の維持のため、 食材費の高騰分を県が負担

・給食を実施している県立学校は特別支援学校33校、中学校2校

●スクールサポートスタッフの増員(前年度比154校増)

スクールサポートスタッフとは、教員の長時間勤務を改善するため、教員の事務作業の一部を補助する職員です。

・小中学校 +150人(既定と合わせ340人)

・特別支援学校 +4人(既定と合わせ33人)

●県立学校トイレ改修(7校7棟)

千葉県議会議員定数削減ならず、1増へ・・・

来年春に行われる千葉県議会議員選挙を前に「1票の格差」が最大で3倍を超えている状況等を解消するために定数や区割りの見直しについて、議員定数等検討委員会で合意に至らず、自民党が提出した条例案が可決され、**定数94名から95名(選挙区41)**と定数が増えることになりました。

水野ゆうきが代表を務めている無所属系会派では●**総数は増やさない** ●**極端な削減等はせずに現実的な削減へ変更**に重点を置き、1名減の削減案を提案していました。地方政治は地域住民のあまねく声を拾い上げ、多様な政策を議論することも重要な役割であることから、一部の国政野党政党系列の会派が提出した非現実的な削減案には与しません。一方で、国政政党に所属する一部県議の不適切な行動に関する報道により、議員定数を削減するべき、という声があることも承知しており、IoTやAIが進展する少子高齢化社会において、絶対数を増やすことは時代と逆行していると考えます。

「旧統一教会及び関連団体と一切関係を持たないとの決議」を求める請願、不採択・・・

市民オンブズマンより「千葉県議会議員が世界平和統一家庭連合(旧統一教会)及び関連団体と一切関係を持たないとの決議」を求めることについての請願が提出され、水野ゆうきの会派は採択すべきという判断を下しましたが、反対多数により不採択となりました。一部の千葉県議会議員が公務活動費より世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と関連ある支出があったことがわかっています。水野ゆうきは当該団体とは一切関係を持ったことはなく、これまですべての選挙において、あらゆる団体からの推薦等は政治活動を行う上でしづらみに繋がることから固辞しております。公平公正な政治を行うため、今後もこの方針は変わりません。

水野ゆうきから一言

皆さまの地元の市区町村・都道府県議会議員や首長の議会・地域活動等を選挙期間のみならず任期4年間をしっかりとチェックしていただくことは非常に大切です。地元の政治家が働いているかどうか、議会の賛否等を見極めた上で、投票行動に移していくことは質の高い議会への大きな一歩になると期待しているからこそ、選挙には必ず行っていただきたいと思えます。

次世代へ繋げる水野ゆうきの地域・議会活動

水野ゆうきはあまねく層に政治や行政に関心を持っていただき、まちづくりに主体的に参画してもらうために、投票率の低い若い世代とともに様々な活動をしています。



地方政治の仕組みや政策に関する授業

水野ゆうきは様々な大学等で地方政治の仕組みや選挙制度、地方議員の活動などについて講義を行っています。学生とコミュニケーションをとることで、自身の政策にも活かし、意欲ある学生とともに地域活動に参加しています。



大学生の千葉県議会傍聴

6月定例県議会では大学生が水野ゆうきの代表質問の議会傍聴に来ました。熊谷知事と水野ゆうきのやり取りを生で見て二元代表制の仕組みを学びます。熊谷知事とともに記念撮影。

人と自然を未来へ繋ぐ地域活動

水野ゆうきは予算要望や議会にて手賀沼に繁茂する外来水生植物のナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ対策について、あらゆる機会を通じて県に継続して働きかけを行っています。今年度は4月から10月の間に主に柏市側約1万8千㎡を駆除(これにより繁茂面積の約45%の駆除を終えることになる)することになっていますが、強力な拡大力と再生力を特徴とする外来水生植物は刈り残した根や茎の断片からも植物体が再生し、水流によって、すでに駆除した場所や新たな地で定着・再生してしまっています。さらにはゴミも散乱



しており、美しい手賀沼を取り戻すためにはあらゆる対策が必要です。6月議会を傍聴した大学生とともに数回に分けて手賀沼の現場を視察・調査し、みんなで手賀沼のあり方や課題、活用などランドデザインについて考えます。

大学生とともに視察した様子や手賀沼における外来水生植物やゴミの現状はYOUTUBEにアップしていますので、是非ご覧ください。

<https://youtu.be/TTqt2ze5c9M>



今年度より市民団体が外来水生植物を駆除する活動の経費に助成を行う防除事業補助金が新規事業として創設され、4団体が採択されました。実際に採択された我孫子市のNPO法人の防除作業に大学生とともに参加させていただきました。ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイを陸に揚げて、細かく切って、ゴミ袋に入れる作業をお手伝い。手賀沼の環境保全に向けて、自身も汗をかきながら取り組んでいきます。



|| 新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しについて ||

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々にご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆さまに心よりお悔やみ申し上げます。令和4年9月26日より発生届によるコロナ新規感染者数の全数把握が一律で終了したことに伴い、千葉県は発生届の対象者を4つの類型に当てはまる方とします。

- 65歳以上の方
- 入院を要する方
- 妊娠されている方
- 重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な方
- 又は
- 重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な方



千葉県新型コロナウイルス感染症陽性者登録センター
<https://www.cy.cmic-vac.com/>
 ネットがご利用できない方は→
 TEL:0120-829-125 (9:00-18:00 土日祝日対応可)

発生届の対象となる方についてのフローや今後の支援はこれまでと変わりません。一方で左記の4項目に該当しない方々は発生届の対象外となります。

発生届の対象とならなくても安心して自宅で療養できるよう、千葉県新型コロナウイルス感染症陽性者登録センターに登録を行っていただくことにより、引き続き希望に応じて健康相談、パルスオキシメーター貸出、配食サービス、宿泊療養等の支援を利用していただくことができますので、必ず登録をお願い致します。

水野ゆうき 主な役職

千葉県議会議員(無所属系会派「千翔会」代表)

- ・県土整備常任委員会委員
 - ・千葉県議会フリースクール等教育機会確保議員連盟 幹事
 - ・千葉県議会スポーツ振興議員連盟 幹事
 - ・千葉県議会地震・津波対策議員連盟 幹事
 - ・千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問
 - ・手賀沼水環境保全協議会顧問
 - ・千葉県環境審議会委員(水環境部会担当)
 - ・一般国道356号整備促進期成同盟顧問
- 他ホームページに掲載

プロフィール

1983年2月19日生の39歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入。帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。大手物流会社に入社し約3年間役員秘書として勤務後、民放テレビ局勤務(BSフジ『PRIMENEWS』担当)。2011年我孫子市議会議員選挙当選。2015年千葉県議会議員選挙初当選。2019年2期目当選。



水野ゆうきへのご意見・応援メッセージは公式ホームページまで ▶ <https://mizunoyuuki.com/>